

## 平成 27 年度丹波の森夢会議 記録

平成 26 年 4 月に発足した第 7 期丹波地域ビジョン委員会では、丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」改訂版に掲げた「自立」、「交流」、「元気」、「絆」、「安全安心」をテーマとした 5 つの将来像実現に向け、ビジョン委員が 8 つのグループに分かれ、様々な実践活動を行なって来ました。

2 年間にわたる活動の総括として、各グループの取組について発表を行い、ビジョンの実現に向けた活動を広く発信するとともに、丹波地域の未来を担う高校生、様々な分野で活動する団体、住民が一堂に会し、ネットワークを拡げ、地域全体で丹波の未来について語り合う「丹波の森夢会議」を開催しました。

- 1 開催日時 平成 28 年 2 月 20 日（土） 13:00～16:00
- 2 場 所 丹波市立柏原住民センター 会議室 （丹波市柏原町柏原 5 5 2 8）
- 3 テーマ 「たんばは、やっぱりええでえ！」
- 4 参加者 約 140 名
- 5 内 容

### （1）開会

◇あいさつ 岡田政光 丹波地域ビジョン委員会委員長



### （2）高校生によるビジネスプランの発表

◇進行 小橋昭彦丹波地域ビジョン委員会専門委員

丹波地域の高校生が、若者ならではの創造力を活かして考えた地域課題解に向けたビジネスプランや、地域資源を活用したビジネスプランについて発表。各校の発表について、来賓からもコメントを頂きながら進行。

高校生によるプレゼンテーション（発表順）	
県立氷上高等学校	丹波の起爆剤「白雪大納言小豆」の普及
県立篠山鳳鳴高等学校	若者が創る明るいふるさと
県立氷上西高等学校	まるっと手作り丹波布
県立篠山産業高等学校 丹南校	生き物とゆかいな仲間たち（観光ツアー）

県立柏原高等学校	空き家活用策「サテライト”寺子屋”」
県立篠山東雲高等学校 (特別出演)	地域資源で環境創造～竹チップで未来を変える (第4回イオンエコワングランプリ内閣総理大臣賞受賞)



◇コメント 金澤和夫兵庫県副知事

**【氷上高等学校】**

栽培から商品化まで年次計画も作り一貫した活動が行なわれていた。  
6次産業化の大事なポイントを押さえている。

**【篠山鳳鳴高等学校】**

「若者＝商品」という発想が素晴らしい。人材不足という悩みがある中、  
若者を地域の資源と捉えることで、様々なプランが考えられる。  
月刊誌についてネーミングを面白くすれば、引きつけられるものになるの  
ではないか。

**【氷上西高等学校】**

丹波布は高価であり購入は難しいというイメージがあるが、それを体験プ  
ログラムにするというアイデアにひきつけられる。ターゲットを服飾専門  
学校生に絞ったり、金額の計算までしているところも素晴らしい。

**【篠山産業高等学校・丹南校】**

閉校するため、自分たちのやってきたことを後輩に引き継ぐことができな  
い。そこで観光として継続させるというところに心打たれた。リアルな季  
節や場所を提示できたらもっとひきつけられるプランになる。  
仲間を作って掘り下げ、実際に地元で展開してほしい。

**【柏原高等学校】**

高校生の勉強する場所がないということに驚いた。空き家の活用方法につ  
いては、色々な提案を見てきたが、自習室としての活用は初めての提案で  
あり、課題の捉え方にびっくりした。

**【篠山東雲高等学校】**

プレゼン方法はもちろん、研究の積み重ねも本格的である。竹チップの色々

な活用方法を提案し、いずれもそれなりに芽が出ている。水素発生が成功すれば、大きなインパクトである。研究を積み重ね、どんどんPRして欲しい。

兵庫県では人口減少が続いている。結婚にたどりつかない人、結婚をしない、子どもを産まないという選択をする人などがあり、人口が自然に減少している。また、大学進学や就職などによる社会減もある。人口減少は、人生設計に関わること、ひとりひとりの行動により起こるものである。

だから、この地域にとどまって欲しい。とは言わない。羽ばたく人は羽ばたいて欲しい。大事なのは減少する自分のかわりの人を呼び込みこと。地元をPRし、Iターンなどを希望する人たちに情熱的に働きかけることが重要である。地元のことをよく知り、本当に好きになって自分の言葉で語れば伝わる。

今回は、地域内で語り合う良い機会となったのではないか。どんどん地元のことを知り、好きになって欲しい。



### (3) 第7期丹波地域ビジョン委員会実践活動グループの取組発表

細見勇人企画部会長から丹波地域ビジョンの5つの将来像の実現に向けて活動を行って来た8つのグループの2年間の取組とその成果や課題を発表。

### (4) 全体交流会

地域で活動する団体等の活動内容について、司会の足立純子副委員長から紹介した後、それぞれの活動を展示するパネル前などで、活動をPRするとともに、参加者全員で交流し、ネットワークを広げました。

出展団体一覧（順不同）	
805たんば！	丹波地域のホトケドジョウを守る会
(株)いなかの窓	丹波腎臓病患者会
B i r t h d a y	神戸新聞 春日・山南専売所 丹心（まごころ）サポート
一般財団法人神楽自治振興会	市島町史実研究会
TEAM ReBorn 篠山線	伊能忠敬笹山領探索の会

江古花園運営委員会	たんぱっ子！学びフェスタ 実行委員会
平松区森林愛好会	



### 【感想発表】

- ・地域課題を解決することを仕事にしている。高校生の発表を聞いて、自分たちも頑張らないといけないと思った。
- ・数年前から夢会議に参加しているが、夢会議の風景が変わったように思う。当時は、参加した人が地域の現状に文句を出し合っていた。それが、自分たちの手による地域づくりのアイデアを出し合うようになってきた。その変化が素晴らしい。
- ・高校生の発表にびっくりした。地域により課題は異なるが、交流することで、また違った発見ができる。交流することが必要。

### (5) 閉会

◇総括コメント 横山 宜致丹波地域ビジョン委員会専門委員

○高校生の発表について

#### 【氷上高等学校】

赤い小豆を活かすために白い小豆の普及に取り組むという逆転とも言える発想が素晴らしい。

#### 【篠山鳳鳴高等学校】

魅力が高校生自身であるという考え方がこれからの地域づくりに生きてくる。

#### 【氷上西高等学校】

ターゲットを明確にしている。どんなビジネスにおいてもヒントになる。

#### 【篠山産業高等学校・丹南校】

自分の趣味から地域づくりに関わり、地域に還元しようとするプラン。地域づくりの原点となる考え方である。

#### 【柏原高等学校】

課題は財産であり、ビジネスチャンスと捉えている。自分たちでできることを考えている。

#### 【篠山東雲高等学校】

発表も研究も素晴らしい。

○ビジョン委員会の取組について

【安全安心】グループさるがした！！・男女共同参画グループ

問題点を解決する方策として、テーマ型の団体が地縁団体である自治会と連携した取組を実施している。

協働の形が既にできあがっている。

【絆】高齢者の生きがいつくりグループ・青少年グループきずな・グループ夢ジョッキー

いずれのグループも市や学校など、公的な既存組織と連携し協働している。

【交流】里山 de ふれあいグループ

田舎の良さをアピールするターゲットを都市住民に絞ったところが良い。

【自立】グループたんばなう

NPO になれる力がある。講演会で100名を集めることは、出会いの場の提供にもなっている。

【元気】たんば菜響グルメグループ

レシピというストックを形成していることが良い。

他のグループの紙芝居なども同様で、このストックを地域で活用して欲しい。

ビジョン委員の活動を通じて、丹波地域の魅力を知り、自分の言葉でその魅力を語れるようになる。この経験を活かして地域で実践して欲しい。また、地域での活動を活かしビジョン委員になることもできる。丹波がさらに元気になるような活動となることを期待したい。



◇閉会あいさつ 柳瀬 厚子 丹波県民局長

ビジョン委員の皆さんには、2年間の活動お疲れ様でした。

本日は、高校生から様々な年代の方まで多くの方にお集まりいただき、年齢にかかわらず、交流していただくことができたのではないかと。

人と人とが繋がり交流ができる地域。丹波地域は「ええでえ～」ということを感じていただいたと思います。第8期のビジョン委員も募集しているところであり、皆さんの力を地域づくりに活かしてほしい。